

柳原良平アートミュージアム
Yanagihara Ryohei Art Museum

橋と船の

柳原良平没後10年記念 | 柳原良平アートミュージアム特集展示

博覧会

旅
に
で
よ
う

SOUND OF SETO 1988(昭和63)年 リトグラフ

2025
5/8木
11/16日

開館時間 10:00—17:00[最終入館16:30]

休館日 月曜日(祝日にあたる場合は開館し、翌日休館[6/2(月・横浜開港記念日)、8/12(火)、9/22(月)は特別開館])

入館料 一般 500円、65歳以上 400円、小・中・高校生 200円

※本展は横浜みなと博物館の入館券でご見学できます。 ※帆船日本丸との共通券(一般800円、65歳以上600円、小・中・高校生300円)で本展もご覧になれます。 ※毎週土曜日は小・中・高校生は共通券が100円の特別料金になります。



横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum

〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-1-1 公益財団法人 帆船日本丸記念財団
TEL 045-221-0280(代表) FAX 045-221-0277
<https://www.nippon-maru.or.jp/>

橋と船の博覧会

柳原良平没後10年記念 | 柳原良平アートミュージアム特集展示

今年で没後10年を迎える画家・柳原良平が国内外の橋と船を描いた作品を展示します。柳原は客船や貨物船が橋の近くを航行する場面を数多く描きました。横浜港にかかる横浜ベイブリッジや鶴見つばさ橋はもちろん、瀬戸内海にかかる明石海峡大橋や瀬戸大橋、サンフランシスコのゴールデン・ゲートブリッジなども作品の題材として取り上げ、橋と船が風景として調和している様子を作品に残しています。横浜から関西・瀬戸内、そして世界へと各地の橋と船をめぐる旅に出かけましょう。

アムステルダム横浜入港 2010(平成22)年 油彩
横浜ベイブリッジの下をくぐるオランダのクルーズ客船アムステルダムを描いた作品。背景に抽象的な帯状の模様を入れ、新しい表現に挑戦している

浅間丸
1996(平成8)年 リトグラフ
サンフランシスコのゴールデン・ゲートブリッジの下を北米航路の客船・浅間丸が通過する様子。柳原は同橋を世界の吊橋の中でも一番美しい橋と考えていた



上海郊外 周荘 2003(平成15)年 油彩
柳原が夫婦で訪れた中国・周荘の風景を描いた作品。周荘は水運の要衝として栄えた町で、明や清の時代の町並みが残っている。手漕ぎの小舟で水上からの景色を楽しむことができる



SAWAKO
1991(平成3)年 リトグラフ
岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋のうち、坂出市与島(よしま)にかかる北備讃(きたびさん)瀬戸大橋とその下をくぐるタンカーを描いている



たこフェリー
2003(平成15)年 リトグラフ
明石海峡大橋の下をくぐる明石淡路フェリーのあさしお丸を描いた作品。フェリーの船体にはタコのイラストが描かれており「たこフェリー」の愛称で親しまれた。奥の船はクルーズ客船にっぽん丸



すてぞう 西村捨三翁像(仮題)
2010(平成22)年頃 切絵
西村捨三は柳原の曾祖父。明治期に大阪の築港を指揮した人物で、大阪市港区の天保山(てんぼうざん)公園に銅像が建てられている。後ろの橋は天保山大橋

コンテナ船と鶴見つばさ橋 1996(平成8)年 油彩
横浜港にかかる鶴見つばさ橋とマースク・ラインのコンテナ船を画面の横幅いっぱいにも描いた作品。柳原は同橋の名称選考委員を務めた



Paris
2003(平成15)年 リトグラフ
パリ・エッフェル塔のそばにあるイエナ橋のたもとで柳原本人がセーヌ川巡りの遊覧船をスケッチしている

2025年度 横浜みなと博物館 展示予定

特別展示室



柳原良平没後10年記念企画展

柳原良平をかたちづくるもの 一船・アンクルトリス・そして横浜—

2025年8月9日(土)～10月13日(月・祝)

柳原良平の没後10年の節目に、柳原の創作活動の核となる「船」「アンクルトリス」「横浜」を題材とした作品を約300点展示します

日本のクルーズ船三隻揃い踏み
2009(平成21)年 切絵

柳原良平アートミュージアム

柳原良平のポスター展(仮)

2025年11月18日(火)～
2026年5月6日(水・振休)

柳原が手掛けた、親しみやすく、注目を集めるポスターの数々をご紹介します

1階ロビー ※無料でご見学いただけます

戦後80年 太平洋戦争関連所蔵資料の紹介パネル展

SCAJAP(スカジャップ)写真 2025年5月31日(土)～8月11日(月・祝)
帆船日本丸日本語航海日誌 8月15日(金・終戦の日)～11月16日(日)

戦後80年の節目にSCAJAP番号が標示された占領期の日本船の写真、日本語で書かれた戦時中の帆船日本丸の航海日誌についてご紹介します



横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum

〒220-0012 横浜市内西区みなとみらい2-1-1
公益財団法人 帆船日本丸記念財団
TEL 045-221-0280
FAX 045-221-0277
<https://www.nippon-maru.or.jp/>



「柳原良平」たこフェリーに乗る「淡路島の港巡り」
「クルーズ」二〇二〇年三月号、海事プレス社より

橋は渡るものでなくて海から眺めるもの